

F R E E (フリートーク) T A L K

【プロフィール】

●昭和39年1月、千葉市出身。幼稚園から大学院まで学校はすべて千葉市内、診療放射線技師として千葉大学医学部附属病院に勤務。妻と娘（高1）とトイプードル（12歳）の3人プラス「ワン」家族。最近の信条は「夢は自分で実現する現実のもの」、ずっと思い続けていれば、いずれ道は開けてくる。趣味はユーザー歴20年のMacと庭いじり。平成22年12月1日、診療放射線技師長に就任。

診療放射線技師の仕事というと、一般の方は肺や乳腺のレントゲン撮影、あるいは胃のバリウム検査などを想像されるのではないのでしょうか。しかし、それはほんの一部でしかなく、私たちの仕事は想像できないほど多種多様で、高度な知識と技術が必要とされています。千葉大病院で行われている検査、治療だけでもX線CT検査から血管造影検査、MRI検査、核医学検査、放射線治療、画像情報処理管理などと細分化されています。また、それだけでなく、検査の装置は7、8年のサイクルで機械が入替わるため、他の医療の現場も同様ですが、常に新しい知識を吸収していかなければなりません。ちなみに平成22年にMRI検査や核医学検査、放射線治療における最新鋭の装置が導入され、すでに稼働しています。なかでも放射線治療の装置は、今まで以上に多方向からの照射が可能になったことから正常な組織を守りながら、より高精度で細やかな治療が可能となりました。

私たち診療放射線技師は、放射線や画像診断装置を取り扱うプロ集団です。

患者さんに対して安全に放射線を照射するといった義務があり、高いプロ意識を持って仕事をしています。また千葉大病院の診療

放射線における新しい検査と治療技術の開発が夢

診療放射線技師の仕事は  
いまや多種多様



千葉大学医学部附属病院  
放射線部 診療放射線技師長  
梶田 ますた 喜正 よしただ

放射線技師は常に勉強する意欲を持ち、各種の専門資格取得や学会発表なども積極的にを行っています。

週末の庭いじりで気持ちをリセット

現在の仕事に就くきっかけとなったのは、高校時代、看護師を目指す現在の妻に出会ったからです。彼女に触発され、同じ医療の道を模索していたのですが、工学や機械が好きな自分の資質を考え、診療放射線技師という仕事を選びました。

診療放射線技師歴25年のうち約20年間は、MRI検査の現場で働いてきましたが、もっと深い知識を得たいと平成22年9月までの3年間、社会人大学院生として、工学の研究を行っている千葉大学のフロンティアメディカル工学研究センターに通っていました。日中は診療放射線技師として働き、夜は論文や研究と忙しい毎日でしたが、とにかく楽しかった。この院生時代にコンピュータで4DのMRIをプログラミングすることに成功して、千葉大学から「優秀発明賞」をいただきました。この経験を活かし、放射線部とフロンティアメディカル工学研究開発センターとの連携を強化して、新しい検査、治療技術の開発を行っていききたいというのが目下の夢です。

診療放射線技師は天職ですが、やはり仕事には緊張の連続。週末はなるべく仕事のことを忘れるようにして、のんびりと庭いじりをしています。小さなスペースですが季節の野菜を作ったり、大好きなバラの手入れをしたりと、土や草木に触れてリフレッシュ。気持ちをリセットすることが、仕事を充実させるコツかもしれませんね。

トピックス  
今年のスギ花粉症対策



今年のスギ花粉の飛散量が多いことが危惧されています。スギの花粉を作る雄花は夏に成長しますが、昨夏の猛暑が雄花の成長に適した環境であったこと、昨年スギ花粉飛散量が少なかったことも雄花の成長を助長したと考えられています。千葉ではスギ花粉飛散量は平年より多く、一方飛散開始は、11月の気温が高く、冬眠に入るのが遅れたため2月中旬とやや遅く、その分飛散開始後短期間で飛散ピークがみられるのではと考えられます。しかし、今後の天候により大きく変わる可能性もあります。もちろん、花粉の飛散量が前年の3倍になれば、症状が3倍に強くなるとは限りませんが、花粉の飛散量が増えると症状が強くなるのが多く、新たに発症する患者さんが増えることも確認されています。特に、毎年花粉症に苦しんでいる方は、症状が非常に軽い時から治療を開始して、重症化して鼻の粘膜の過敏性が亢進してしまうのを防ぐ必要があります。発症の経験が無い方もくしゃみ・鼻水や目のかゆみが続くときは花粉症を疑って早期に診察を受けましょう。

(耳鼻咽喉・頭頸部外科 岡本美孝)

私が千葉大学に採用されたのは、昭和44年の大学紛争真っ只中、とても仕事にならなかったことを思い出す。そして、大学病院に初めて勤務したのが、今の病院に移転した昭和53年。それから30年後にまた病院にお世話になり、そして今年、病院を最後に定年を迎える。あつという間の42年間でした。

今病院は再開発の途中、平成20年からひがし棟の開院、みなみ棟の改修と続き、にし棟の改修が平成23年3月に終了予定。その後新外来棟の建設、旧外来棟の改修、そして最後には新中央診療棟の建設が予定されています。残念ながら、私は新しい事務室で勤務することはないが、外から見守って行きたいと思います。

これから、一段と寒くなる季節ですが、風邪などひかないよう「うがい」、「手洗い」の励行を怠らないようにしたいものです。

(医事課医療支援室長 宇井 明)

鼻 15  
あしき

千葉氏の本拠地・千葉城 その②

中世千葉の豪族である千葉氏の居館がどこにあったかについては、長く猪鼻城跡と考えられてきました。その場所は、千葉の市街を見下ろす標高約二十メートルの天守閣を模した建物の千葉市立郷土博物館として親しまれている台地上です。

近年、中世の城郭に関する研究が進み、このような台地上に鎌倉時代に館が作られることはあまりなかったことが明らかになってきて、猪鼻城跡は千葉氏の館だったのだろうかということが論議されています。

(歴史民俗研究家 宮原さつき)

中世史料では、千田胤貞と千葉介貞胤の間で内紛が起こった時、千田により千葉城・千葉楯が攻撃されたこと、建武二年(一三三五)の「相馬文舎」に書かれているのみです。この時代、城郭は戦いに際して建物のまわりにお堀を掘り、土塁を作ったりして築かれたものが多く、千葉城(猪鼻城)が千葉氏の館だったということにはならないということが言われるようになってきています。

中世史料では、千田胤貞と千葉介貞胤の間で内紛が起こった時、千田により千葉城・千葉楯が攻撃されたこと、建武二年(一三三五)の「相馬文舎」に書かれているのみです。この時代、城郭は戦いに際して建物のまわりにお堀を掘り、土塁を作ったりして築かれたものが多く、千葉城(猪鼻城)が千葉氏の館だったということにはならないということが言われるようになってきています。

郷土博物館の手前に今も残る土塁。千葉城の数少ない遺構の一つ